

岐阜県福祉サービス第三者評価事業評価結果表

平成 31 年 4 月 1 日改正
(平成 31 年 4 月 1 日適用)

①第三者評価機関名

特定非営利活動法人 旅人とたいようの会

②施設・事業所情報

名称：岐南さくら保育園		種別：保育所	
代表者氏名：統括 松本 郁子		定員（利用人数）： 130 名	
所在地：岐阜県羽島郡岐南町みやまち 4 丁目 96 番地			
TEL：058-271-4424		ホ ム ペ ー ジ： http://ginansakurahoikuen.com/	
【施設・事業所の概要】			
開設年月日 平成 21 年 4 月 1 日			
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 豊誠会			
職員数	常勤職員： 18 名	非常勤職員	28 名
専門職員	(保育士) 44 名	(看護師)	3 名
	(栄養士) 2 名		
施設・設備 の概要	(保育室数) 6 部屋	(設備等)	
		遊戯室 1	p r y ルーム 1
		病児室 1	療育ルーム 1
		給食室 1	職員室 1
		事務室 1	

③理念・基本方針（※転載）

◆心をだっこする愛情保育

・「一人ひとりを大切にする愛情いっぱいの保育」に取り組み、自己肯定感を育みます。

・一人ひとりを受け止め、丁寧に関わることで「私は愛され、大切にされている」と思える心（自己肯定感）を育みます。

◆保育方針

【安全保育】【子育て支援】【地域支援】【保育の質の向上】

④施設・事業所の特徴的な取組（※評価機関において記入）

◆未満児専門の保育園

◆四季折々の花が咲く緑豊かな園庭で、自然との関りを大切にしながら、安心して安全

な環境を整えて、創意工夫をこらした楽しい保育（個々の発達を促す温かみのある手作り玩具・音楽遊び・運動遊び等）を行っている。

◆地域住民の方が育てられた花苗を子ども、職員で花壇に植え、毎月「愛情いっぱいお花の日」を設け、野菜や花を育てている。

◆登降園時に担任が保護者に、子どもの1日の様子を伝え、保育の様子をブログで伝え保護者が安心して仕事ができるように努めている。

◆『食を営む力』の育成に向け、日本の伝統文化を意識し、地産地消の旬菜を使った和食中心の献立を工夫している。

◆離乳食やアレルギー食には、保護者との毎月懇談を行い除去食、代替え食の対応をしている。

◆一時保育（就学前の子ども対象）

◆病児、病後児保育（小学校低学年までの子ども対象）

◆地域子育て事業（子育て支援ルーム）（未就児親子への園庭・遊戯室の開放）

◆通園療育ルーム（言葉の発達の遅れのある乳幼児対象）各関係機関と連携を取りながら、一人ひとりの健やかな成長、発達を支援。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和2年1月24日（契約日） ～ 令和2年4月13日（評価結果確定日）
受審回数(前回の受審時期)	1 回（平成 26 年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

岐南町の福祉に対して経験豊かな統括官の低年齢児保育への熱い志しと園長の保育を温かく見守る指導の元「心をだっこする愛情保育」を実践している。社会福祉法人豊誠会 岐南さくら保育園は0，1，2歳児を主とし年齢に即した園生活の実現で保護者や地域から厚く信頼された保育園になるよう全職員で保育の質を高める努力の積み重ねで年々園児数も増加している。

園舎は低年齢児用に設備環境を整え、様々な支援を希望する声に応えられるよう整備している。園庭は芝生を貼りよちよち歩きの子でも安心して戸外で遊べるようにしている。園児が幼いため園児と地域の直接的な交流は出来ないが、園の花壇の花苗植えや園行事に地域協力者が多数あり地域に根付いた園となっている。

保育士一人ひとりが、一日一回以上は個々の園児に抱っこやスキンシップなどのかかわりを実践し子どもは公平に保育士に愛され感を持ち、保育士は子どもと触れ合ったかを確認し合っている。園内の何事も全職員の共通認識をもつての日々の保育に当たることにより保護者から、「園での子どものトラブルに対してどの保育士からも声掛けがあり、みんなに可愛がってもらっている実感がありうれしい」「愛情いっぱい保育を実感している」と高評価がある。

園内研修は、初歩的な「社会人として」から、実践に役立つ研修や姉妹園と連携して公開保育を行うなど人材育成に力を入れている。また「手作りおもちゃ」「手遊び」「うた遊び」など保育士をグループ分けして研究、発表へと展開をしている。「おもちゃ作り」や、「うた遊び」は年齢に即した作品を数多く作成し日々の保育に活用している。

長時間保育、一時保育、小学校3年生までの病児・病後児保育、子育て支援ルーム、療育、児童の発達支援事業など保護者と地域のニーズに応える保育園である。

岐南さくら保育園として人材育成、保育の質の向上に努めてきた。これからも地域の保育園として保育力を高め、子どもにとって最善の利益と理念「心をだっこする愛情保育」の実現に努めている。

◇改善を求められる点

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

第三者評価の受審にあたり、当園が大切にしている理念を、実際に評価委員の方々に感じていただいた上での高評価は、当法人の目指す理想の職員像が共通認識できている表れであり、全職員の教育・保育の専門職としての自信につながりました。

評価委員の方々の「この状態を維持していくことのほうが難しく大変である」という言葉を常に忘れず、これからもワンチーム力を発揮し、より質の高い教育・保育及び様々なサービスの提供を目指し、日々研鑽に励み保育運営に取り入れてまいります。

自己評価を行うことで、今まで行ってきた保育の内容を振り返り、様々なことに気づかせていただいた評価委員の皆様へ感謝いたします。

⑧第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。